

# 日本語授業の流れ

2017年5月12日

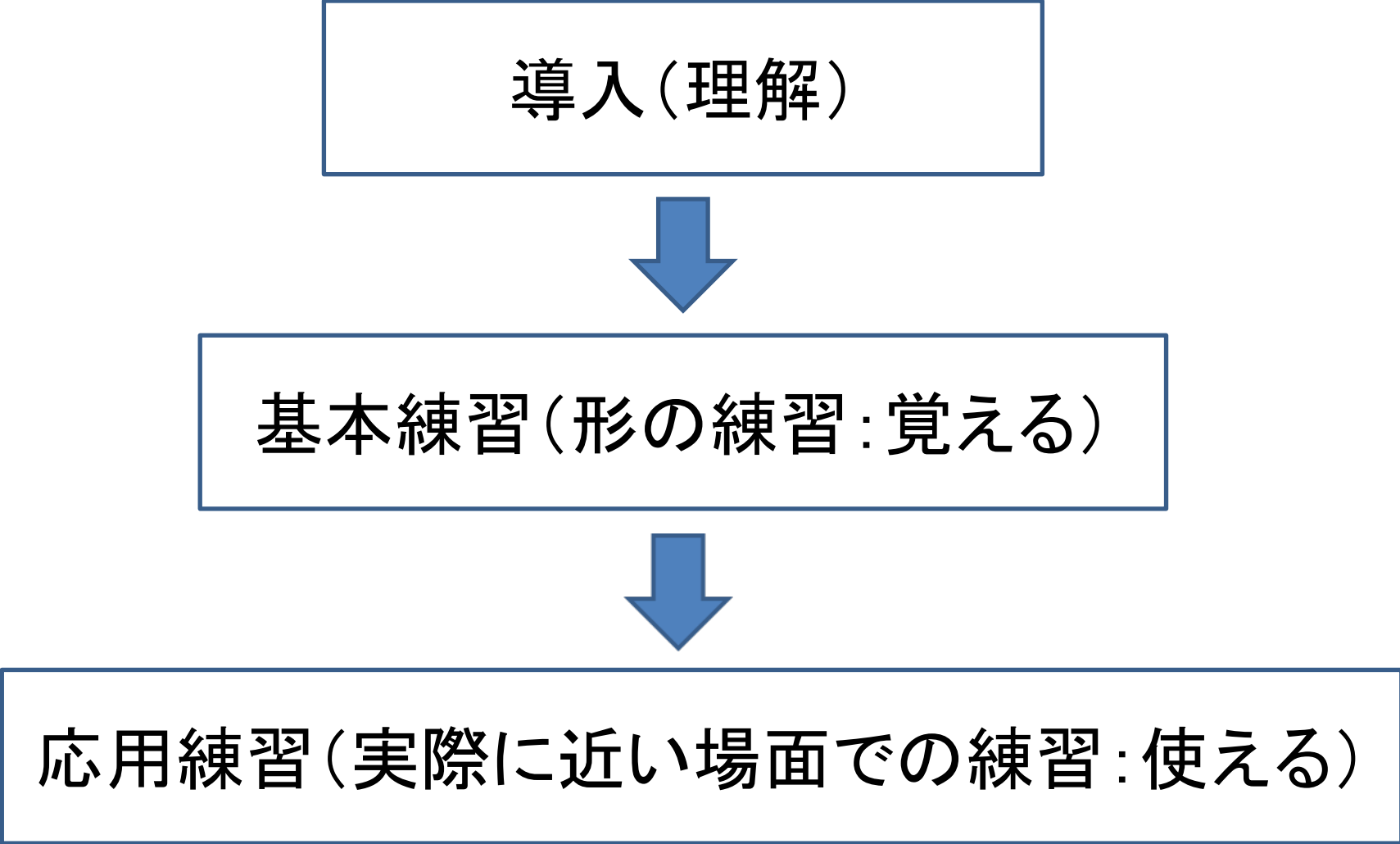
まつお しん

# 学習目標の明確化

- 次の 1)から3)は、どんなシラバスの目標か
- 1)講演を聞いて、メモを取ることができる
- 2)「V - た形 + ことがあります」の文型の意味を理解し、正しく文が作り運用できるようになる
- 3)友だちの誕生日のサプライズパーティーを計画、実施する(ための準備を完璧に行う！)

# 構造（文型）シラバスの 教室活動の流れ（例）

導入（理解）



```
graph TD; A[導入（理解）] --> B[基本練習（形の練習：覚える）]; B --> C[応用練習（実際に近い場面での練習：使える）];
```

基本練習（形の練習：覚える）

応用練習（実際に近い場面での練習：使える）

# 教室活動で取り扱う項目の 整理と分析

- 言語項目（文型、語彙、漢字、発音 etc）
- 言語機能（誘い、依頼、断り、感謝 etc）
- 使用場面
- 文化的情報・差異

# 教室活動で取り扱う項目の 整理と分析

- 「V - た形 + ことがあります」の文型の意味を理解し、正しく文が作り運用できるようになる
- 教室活動で取り扱う項目として何が挙げられますか

# 教室活動で取り扱う項目の 整理と分析

- 「V - た形 + ことがあります」の文型の意味を理解し、正しく文が作り運用できるようになる
- 学習項目として何が挙げられますか
- た形の導入（作り方に関しては、て形と同じなので大きな問題はない）
- 新しい動詞や名詞などの導入
- た形を使用する場面（経験を問う → 相手のことをよりよく知る＝共感性）

# 導入の方法

- 「V - た形 + ことがあります」の導入
- あの！ 金子先生の2012年度の模擬授業を見てもらいます。神業に震えてください。

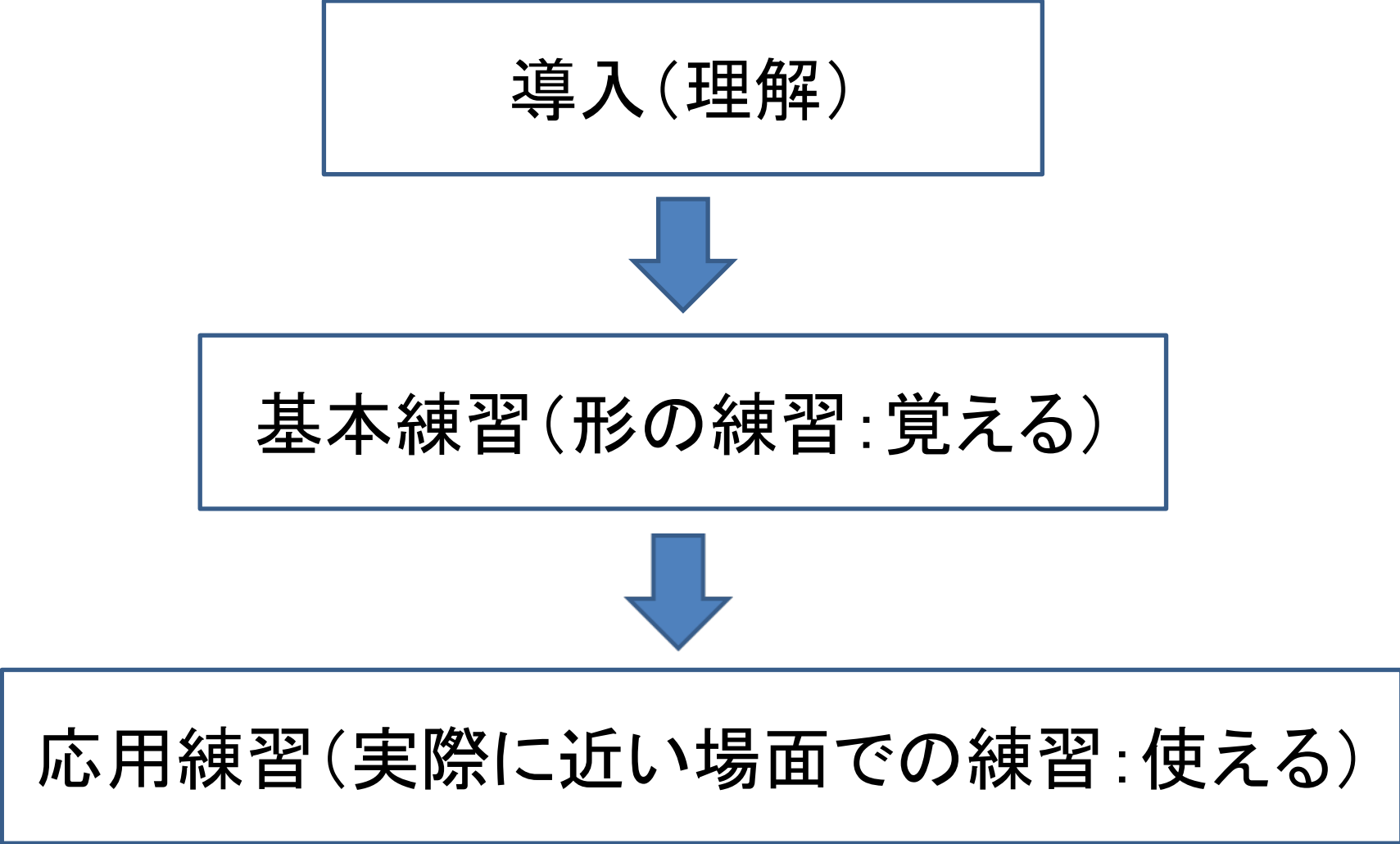
# 導入の方法

- 「V - た形 + ことがあります」が導入できた鍵は何でしたか？金子先生の戦略は？



# 構造（文型）シラバスの 教室活動の流れ（例）

導入（理解）



```
graph TD; A[導入（理解）] --> B[基本練習（形の練習：覚える）]; B --> C[応用練習（実際に近い場面での練習：使える）];
```

基本練習（形の練習：覚える）

応用練習（実際に近い場面での練習：使える）

# 応用練習

- 「V - た形 + ことがあります」の応用練習の活動を**具体的に**考えてください。
- この文型は初級前半の終わり頃（中盤の前半？）に出ることが多い。
- 「たことがあります」を使う場面は？

# 学習方法、教授法の選択

- 文法訳読法
- オーディオリンガル法
- TPR
- コミュニカティブ・アプローチ
- サイレント・ウェイ
- オーラル・メソッド
- その他

- 次週は、「教材・学習リソース」を取り上げます。
- 課題を出します。

# 来週までの課題

- 「日本の文化」というテーマで90分の授業活動をするという前提
- どのような「教材・学習リソース」が使えるでしょうか
- 実際に「教材・学習リソース」を持参すること
- どのような狙いでどのように使用するのかを授業内で発表

# 来週までの課題

- 設定：
  - 東京の日本語学校の授業
  - 担当は東女の日本語教員養成課程の実習生（チームで行う）
  - レベルは初級後半から中級前半のミックス
  - 学習者の出身は様々
  - 教室環境（プロジェクター、スクリーン、スピーカー、実物投影機あり。移動機）

# 来週までの課題

- 「日本の文化」というお題で、「文化」とは何か、「**日本の**文化」とは何かということに関する柔らかい発想が必要！
- 「教材・学習リソース」とは何かを調べたり、考えたりしてから取り掛かること
- チーム内で2つか3つのチームに分かれて課題に取り組むこと

# 来週までの課題

- 90分の授業活動がしっかり構成されていなくてもいいです。
- 部分的にでもいいので、具体的な発表をしてもらいます。
- 何をどう使って何をするのか、狙いは何かを発表してもらいます。



# 来週の授業

1. チーム内でのアイデアシェア
2. チームを越えてのアイデアシェア
3. 全体共有
4. 流れをみてまつおが何か言うかも・・・